

開催日：2019年4月24日（水）

リポーター：佐々木ゼミナール 佐々木信昭

- ・志願者、受験生（昨年 1643 人から 2151 人に）の増加で、合格者数はそのままなので倍率は上がった。
- ・帰国 A 方式国語型では A 方式で不合格（算数・英語で判定）でも、B 方式 2 科目（国語・算数）で再度合否の判定をしている。
- ・帰国で不合格だと、グローバルを受験するパターンが多い。
- ・帰国で I 類に合格し、グローバルで II 類をチャレンジする受験生もいる。
- ・2/1 午後の入学手続き率（合格者中の入学の手続きをした人の割合）は昨年 17%から今年は 21%に
- ・特待生（A は 100 万円 B は 50 万）は A・B 47 人認定、入学手続きは A 2 人、B 4 人。
- ・特待生は原則 3 年間有効（上位 3 割にいればよい）。
- ・国語は男子校なのに詩を出題するという変わり種。3000～4000 字の文章、50～60 字の記述あり。
- ・算数は今年は難しかった。小問で 50 点なのでここで頑張ってもらいたいとのこと。
- ・私立学校にとっては大学入試制度改革は追い風になる。以前からいろいろと対応をしている。短期留学、研修で英語へのモチベーションをアップさせている。
- ・卒業生は昨年より 30 人減少。
- ・今年の塾向け学校説明会は 60～70 人が参加。
- ・今年の現役大学入試結果は、東大 2、東工大 3、一橋 2、慶応 27、早稲田 56 人の合格。

<リポーターの感想>

ムサコーからトシコーにモデルチェンジして大成功になってきました。I、II のコース別にして、初めての大学受験の結果です。年々偏差値が上がって在籍生の学力が上がってきているので、今後も合格実績は伸びていくはずです。